

R 8 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ(普)	単位数	4	担当者	河上・宮澤
---	----	-------	---------------------	-----	---	-----	-------

1、教科書・副教材

教科書：「Power On English Communication II」（東京書籍）
 副教材：「Power On English Communication II WORKBOOK」（東京書籍）
 ALL EARS Standard（美誠社）、WORDBOX

2、科目の目標

- ・ 英語の4技能を総合的に身に付け、各題材において、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通し様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。
- ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前 期	4月	Lesson 1 Play me, I' m Yours	助動詞+動詞の原形, 受け身, S+V [be 動詞以外] +C を用いた文	70	既習範囲
	5月	Lesson 2 Ethical Fashion	S+V+O+C [形容詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞]		
	6月	Lesson 3 One for All, All for One	現在完了形, 過去完了形, 仮定法過去		
	7月	Lesson 4 Vending Machines	関係代名詞 (主格), 関係代名詞の 非制限用法, 関係代名詞 (目的格)		
	8月	Summer Reading Going Home	文と文, 段落と段落のつながりを示 す語句を理解		
後 期	9月	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if 節]	70	既習範囲
	10月	Lesson 6 New Banknotes	It+is [was] +said+that 節, 形 式目的語 it と that 節, 形式目的 語 it と to 不定詞, 助動詞+have +過去分詞		
	11月	Lesson 7 Some Secrets about Colors	関係代名詞 (所有格), 同格を表す 接続詞 that, 前置詞+関係代名 詞, 関係副詞		
	12月	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	強調構文, 強調の助動詞		
	1月	Lesson 9 Flying after Her Dreams	譲歩を表す副詞節, 仮定法過去完 了, 分詞構文		
	2月	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形		
	3月	Optional Reading I am Yusra. I am a refugee and I' m proud to stand for	文と文, 段落と段落のつながりを示 す語句を理解		

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際でのコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト、小テスト

思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(例:プレゼンテーション) …別途授業内で指示します
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)忘れ物の有無、授業外で英語を学習する姿勢

5、学習にあたっての注意とアドバイス

分量が増えるにあたり、語彙力・文法知識が必要です。単語は毎日少しずつ覚えましょう。教科書で学習する文法知識は繰り返し確認して、しっかりと覚えましょう。

R 8 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ(理)	単位数	4	担当者	河上
---	----	-------	---------------------	-----	---	-----	----

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Heartening English Communication II (桐原書店) ・副教材 : Heartening II Advanced 学習ノート(理) (桐原書店) ・ALL EARS Standard (美誠社) ・WORDBOX
--

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の4技能を総合的に身に付け、各題材において、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通し様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。 ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	Lesson1 Laughter without Borders	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来を表す表現 ・ 時制の一致 	70	既習範囲
	5月	Lesson2 The Ongoing Voyages of Curry	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来完了 ・ 前置詞 		
	6月	Lesson3 The World's Most Bicycle-friendly City	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞 		既習範囲
	7月	Lesson4			
	8月	Can You Feel Emotions in Text?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動名詞 		
9月	Lesson5 Background Music and Sharks	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定詞 			
後期	10月	Lesson6 The Benefits of Play	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな受動態 	70	既習範囲
	11月	Lesson7 Nursing in a War Zone	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分詞構文 		
	12月	Lesson8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較に関する表現 ・ 従属接続詞 		既習範囲
	1月	Lesson9 The Next Wave in Artificial Intelligence	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係詞 		
	2月	Lesson10 What If There Were No Moon?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法 		
	3月	Reading 1 The Joker Reading 2 The Selfish Giant	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ 		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト、小テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(例:プレゼンテーション) …別途授業内で指示します
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)忘れ物の有無、授業外で英語を学習する姿勢

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>分量が増えるにあたり、ボキャブラリーが必要です。毎日少しずつ、コツコツ覚えましょう。</p>

R 8 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ(森・イ)	単位数	3	担当者	河上・宮澤・鈴木
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	----------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・ VISTA English Communication II (三省堂) ・ ALL EARS BASIC (美誠社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VISTA English Communication II Workbook (三省堂) ・ チャンクで英単語 basic
--	---

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の基礎的な知識や技能の習得を土台として、英語で積極的にコミュニケーションを図る姿勢を養う。 ・ 様々な題材について英語で読むことによって、世界のことば、文化、民族などの多様性を知る。
--

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 World Dance Performances	動詞+目的語+to 不定詞、疑問詞+to 不定詞	5 3	既習範囲
	5月	Lesson2 A Piece of Cake	疑問詞で始まる節、if で始まる節		
	6月	Lesson3 Quokka	使役動詞、知覚動詞		
	7月	Lesson4 Designing Stamps	形式主語 it、形式目的語 it		
	8月	Lesson5 Mont-Saint-Michel	様々な完了形		
後期	9月	Lesson6 Smart Agriculture	様々な受け身	5 2	既習範囲
	10月	Lesson7 A Martial Art on Tatami	関係代名詞		
	11月	Lesson8 Biologging	分詞構文・強調構文		
		ER1 The Open Window	今までのまとめ、復習と応用読解		
	12月	ER2 The Christmas Truce			
	1月	EE3 My Dream			
	2月	ER4 The Restaurant of Many Orders			
3月					

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(別途、授業内で指示します)、ペアやグループの発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>苦手意識を持たず、ストーリーを楽しもう。また、週に一度の単語テストに向けてしっかりと勉強しよう。</p>

R 8 年度 学習の手引き（シラバス）

2	学年	教科・科目	外国語・論理・表現Ⅱ(普・理)	単位数	2	担当者	宮澤・守田
---	----	-------	-----------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ Hope (啓林館) ・副教材 : 英語演習ノート ORANGE 版 (CHART INSTITUTE)、Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope Workbook (啓林館)

2. 科目の目標

<p>・読む・聴く・書く・話すの4技能を総合的に高め、基本的な文と語句を使って、情報・意見・考えを論理的にまとめ、場面に適した英語で伝える力を身に付ける。</p>

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 What is your future goal?	適切な主語を用いる	35	既習範囲
	5月	Lesson2 What school events do you have?	適切な動詞を用いる		
	6月	Lesson3 Who is the best athlete?	時を表す		既習範囲
	7月	Lesson4 Is social media safe?	義務・必要・推量を表す		
	8月	Lesson5 How dose overusing energy affect us?	情報を加える(1)		
	9月	Lesson6 What are some differences?	情報を加える(2)		
後期	10月	Lesson7 Do all Japanese people need to speak English?	情報を加える(3)	35	既習範囲
	11月	Lesson8 Is Japan open enough?	情報を伝える		
	12月	Lesson9 What if you were rich?	仮定を表す		既習範囲
	1月	Lesson10 How might AI affect our lives?	数量を表す		
	2月	Lesson11 What is a healthy life?	比較を表す		
	3月	Lesson12 What is important when we sell chocolate?	否定を表す		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか	定期考查
思考・判断・表現	外国語を用いて、話し手・書き手の意図等を的確に把握するとともに、情報・意見・考え等を論理的に構成して表現できるか	定期考查、授業内のライティング・スピーキングテスト(別途指示します)、ペアやグループの発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)、忘れ物の有無、授業外での学習の姿勢

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・失敗を恐れず、短い文でも英語で伝えてみよう
--